



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ASNOVA 上場取引所 東・名
 コード番号 9223 URL <http://www.asnova.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 上田 桂司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長(氏名) 加藤 大介 TEL 052-589-1848
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		償却前 営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,625	15.1	1,532	5.7	19	△80.7	△36	—	△95	—
2025年3月期第3四半期	3,149	14.1	1,450	9.0	100	△54.6	108	△48.5	35	△71.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △37百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 13百万円(△89.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△7.66	—
2025年3月期第3四半期	2.84	—

(注) 1. 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却費を足し戻して算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	11,993	2,916	24.3
2025年3月期	12,958	2,979	23.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,916百万円 2025年3月期 2,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
2026年3月期	—	1.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		償却前 営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,932	15.6	2,082	31.5	25	△48.2	△72	—	△146	—	△11.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) Qool Enviro Pte.Ltd.、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	12,438,400株	2025年3月期	12,438,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	548株	2025年3月期	548株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	12,437,852株	2025年3月期3Q	12,437,852株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(追加情報)	10
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調で推移しました。一方で米国の通商政策や地政学リスク等による物価上昇の長期化に伴う国内景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。当社が属する建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移した一方、建設資材価格や労務費等の高騰による工事収益の圧迫や建設業従事者の高齢化と人材確保問題等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、仮設機材のレンタルから販売に至るまでワンストップで行えるサービスの強みを活かし、引き続き顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。当社グループが扱う仮設機材価格は引き続き高騰しており、仮設機材レンタルの需要は引き続き高位に推移しております。当第3四半期連結累計期間においては2025年4月にQool Enviro Pte.Ltd.の全株式を取得することで当社の連結子会社となり、売上高の増加に寄与いたしました。また、2025年9月に福島県本宮市に新規機材センターを開業いたしました。以上の結果、売上高3,625百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益19百万円(前年同期比80.7%減)、経常損失36百万円(前年同期は経常利益108百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失95百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間より、Qool Enviro Pte.Ltd.を連結子会社化したことに伴い、報告セグメントを従来の「レンタル関連事業」の単一セグメントから、「国内足場レンタル事業」、「海外足場レンタル事業」、「海外その他レンタル事業」の3区分に変更しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

セグメントごとの状況は以下の通りです。

(国内足場レンタル事業)

国内足場レンタル事業は、日本国内における仮設機材のレンタル及び販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、堅調な建設需要の影響を受け、レンタル需要も引き続き底堅く推移いたしました。一方で慢性的な人手不足や資材高騰等による着工時期の遅延の影響を受け、賃貸資産の出庫が想定よりも遅れたことから、レンタル売上は想定より低調に推移いたしました。その結果、売上高は3,083百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益は581百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

(海外足場レンタル事業)

海外足場レンタル事業は、日本国外における仮設機材のレンタル及び販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきまして、ベトナムの中央省庁及び行政区画再編の影響により案件が停滞し、計画に対して低調に推移いたしました。その結果、売上高は18百万円(前年同期比62.9%減)、セグメント損失は123百万円(前年同期はセグメント損失89百万円)となりました。

(海外その他レンタル事業)

海外その他レンタル事業は、日本国外における仮設機材以外のレンタルを行っております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は524百万円、セグメント利益は41百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、11,993百万円となり、前連結会計年度末と比べ965百万円減少いたしました。この主な要因は、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式取得に伴う資産受入による増加1,375千円、のれんの計上による増加938百万円、またQool Enviro Pte.Ltd.の株式取得等による現金及び預金の減少2,127百万円、賃貸資産の減少1,066百万円等によるものであります。

負債合計は、9,076百万円となり、前連結会計年度末と比べ903百万円減少いたしました。この主な要因は、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式取得に伴う負債受入による増加594百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金の増加188百万円及び株式取得のために調達した資金の借換等に係る短期借入金の返済による減少1,400百万円があったことに等によるものであります。

純資産合計は、2,916百万円となり、前連結会計年度末と比べ62百万円減少いたしました。親会社株主に帰属する四半期純損失95百万円の計上、剰余金の配当24百万円の実施により利益剰余金が120百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最新の業績動向等を踏まえ、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2026年2月13日)公表しております「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,182,773	1,055,047
受取手形及び売掛金	640,311	883,065
商品	143,558	220,077
その他	220,221	300,684
貸倒引当金	△205	△4,998
流動資産合計	4,186,659	2,453,876
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産（純額）	5,088,909	4,022,605
土地	2,698,897	2,709,225
その他（純額）	732,361	1,287,826
有形固定資産合計	8,520,167	8,019,657
無形固定資産		
のれん	—	938,716
その他	44,374	399,826
無形固定資産合計	44,374	1,338,542
投資その他の資産		
その他	237,616	209,828
貸倒引当金	△29,878	△28,678
投資その他の資産合計	207,738	181,150
固定資産合計	8,772,280	9,539,349
資産合計	12,958,939	11,993,226

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,978	80,608
短期借入金	2,200,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,091,058	2,375,889
未払法人税等	51,253	49,800
その他	234,761	464,948
流動負債合計	4,631,051	3,771,246
固定負債		
長期借入金	5,308,718	5,212,175
その他	40,098	93,190
固定負債合計	5,348,816	5,305,365
負債合計	9,979,868	9,076,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	247,477	247,477
資本剰余金	466,128	466,128
利益剰余金	2,275,221	2,155,102
自己株式	△126	△126
株主資本合計	2,988,701	2,868,581
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,629	48,032
その他の包括利益累計額合計	△9,629	48,032
純資産合計	2,979,071	2,916,614
負債純資産合計	12,958,939	11,993,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,149,840	3,625,888
売上原価	2,417,307	2,656,960
売上総利益	732,532	968,928
販売費及び一般管理費	631,567	949,431
営業利益	100,964	19,496
営業外収益		
受取保険金	22,081	41,487
その他	24,855	22,128
営業外収益合計	46,937	63,615
営業外費用		
支払利息	29,567	75,155
その他	9,875	44,363
営業外費用合計	39,443	119,518
経常利益又は経常損失(△)	108,458	△36,406
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	108,458	△36,406
法人税、住民税及び事業税	75,971	68,241
法人税等調整額	△2,784	△9,403
法人税等合計	73,187	58,837
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,271	△95,243
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	35,271	△95,243

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,271	△95,243
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△21,825	57,662
その他の包括利益合計	△21,825	57,662
四半期包括利益	13,445	△37,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,445	△37,581
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	国内足場 レンタル	海外足場 レンタル	海外その他 レンタル	計		
売上高						
レンタル	2,663,571	43,883	—	2,707,454	—	2,707,454
販売	341,980	5,338	—	347,319	—	347,319
工事	71,691	—	—	71,691	—	71,691
顧客との契約から 生じる収益	3,077,243	49,221	—	3,126,464	—	3,126,464
その他の収益	23,375	—	—	23,375	—	23,375
外部顧客への売上高	3,100,618	49,221	—	3,149,840	—	3,149,840
セグメント間の 内部売上高又は振替額	168,919	—	—	168,919	△168,919	—
計	3,269,537	49,221	—	3,318,759	△168,919	3,149,840
セグメント利益 又は損失(△)	629,903	△89,255	—	540,648	△439,683	100,964

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間の取引消去及び各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	国内足場 レンタル	海外足場 レンタル	海外その他 レンタル	計		
売上高						
レンタル	2,711,910	18,127	524,328	3,254,366	—	3,254,366
販売	349,165	116	—	349,282	—	349,282
顧客との契約から 生じる収益	3,061,076	18,243	524,328	3,603,648	—	3,603,648
その他の収益	22,240	—	—	22,240	—	22,240
外部顧客への売上高	3,083,316	18,243	524,328	3,625,888	—	3,625,888
セグメント間の 内部売上高又は振替額	—	—	—	—	—	—
計	3,083,316	18,243	524,328	3,625,888	—	3,625,888
セグメント利益 又は損失 (△)	581,050	△123,560	41,891	499,380	△479,884	19,496

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、新たに報告セグメントに追加された「海外その他レンタル事業」の資産は1,453,290千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間より、Qool Enviro Pte.Ltd.を連結子会社化したことに伴い、報告セグメントを従来の「レンタル関連事業」の単一セグメントから、「国内足場レンタル事業」、「海外足場レンタル事業」、「海外その他レンタル事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「海外その他レンタル事業」において、のれん958,349千円が発生しております。なお、のれんの金額は当第3四半期連結累計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,349,478千円	1,512,545千円

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「足場資材売却益」、「スクラップ売却益」は金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間においては「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。これらの表示方法の変更を反映させるため前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期財務諸表において「営業外収益」に表示していた「足場資材売却益」8,805千円、「スクラップ売却益」8,559千円は「その他」24,855千円として組み替えております。

前第3四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「株式交付費」、「固定資産除却損」は金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間においては「営業外費用」の「その他」に含めて表示しております。これらの表示方法の変更を反映させるため前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期財務諸表において「営業外費用」に表示していた「固定資産除却損」9,198千円は「その他」9,875千円として組み替えております。

(企業結合等関係)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、2025年3月17日開催の取締役会において、Qool Enviro Pte.Ltd. (以下、Qool社)の全株式を取得し子会社化することについて決議し、2025年4月1日付で全株式の取得を完了いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Qool Enviro Pte.Ltd.
事業の内容	仮設トイレのレンタル、衛生関連ソリューションサービス

② 企業結合を行った主な理由

当社の主要事業である足場レンタル事業は、翌連結会計年度以降も需要が旺盛であると見込んでおります。しかしながら、1つの事業のみを継続・深化することは、中長期的な観点からはリスクが伴うことから、足場レンタル事業を安定的な事業基盤としながらも、周辺事業や新市場に進出することで、「非連続な成長の実現」を目指すことが、当社の持続的な企業価値の向上には不可欠であると認識しております。また、上記の周辺事業や新市場への進出に際しましては、海外への展開も視野に入れております。特に、ASEAN諸国は今後急成長が見込まれており、既にベトナム社会主義共和国には子会社 (ASNOVA VIETNAM CO., LTD) を設立し、事業をベトナム各地で展開中です。今後の成長のため、ASEAN諸国は事業展開の強化が不可欠なエリアであると認識しております。上記のとおり、今後の事業展開方針を踏まえまして、この度、Qool社の株式を取得し子会社化するため、株式譲渡契約を締結することを決議いたしました。Qool社は、ASEAN諸国のハブとして最適な立地であるシンガポールにおいて、仮設トイレのレンタル及び衛生関連ソリューションサービスを展開している企業です。Qool社による仮設トイレのレンタル業は、当社の足場のレンタル業の知見・経験を活用することが可能であるとともに、安定的な事業運営が可能であり、収益性も非常に高くなっております。また、シンガポールは今後高齢化により事業承継が増加することが予想されており、現地での積極的なM&A活動の足掛かりにしたいと考えております。当社は、2030年のありたい姿として、「足場レンタル事業が確固たる収益基盤となり新規事業が成長エンジンとして一層の収益拡大を牽引する高収益のグローバルな循環型ビジネスのエクセレントカンパニーでありたい」を掲げております。シンガポールで事業を展開するQool社を子会社化することは、当社が目指していきたい方向性に大きく資することが見込まれることから、Qool社の株式を取得することを決定した次第です。今後も当社はパーパスである「『カセツ』の力で、社会に明日の場を創り出す。」を軸として、持続的な成長を目指してまいります。

③ 企業結合日

2025年4月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

(2) 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

Qool社の決算日は12月31日であり、連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、2025年4月1日から2025年9月30日までの業績を含んでおります。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,013,390千円
取得原価		2,013,390千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

仲介手数料等 131,714千円

(5) 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

979,887千円

② 発生原因

取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その差額をのれんとして計上しております。なお、当四半期連結累計期間末において取得原価の配分は完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(6) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその種類別の償却期間

種類	金額	償却期間
顧客関連資産	336,702千円	10年
合計	336,702千円	10年

(7) 取得原価の配分

当第3四半期連結累計期間末において資産及び負債の公正価値を精査しており、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

(8) 企業結合が当第3四半期連結累計期間の開始の日に完了したと仮定した場合の当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

影響の概算額については、合理的な算定が困難であるため記載しておりません。